

地区	町名	都市機能誘導区域	誘導施設	地域特性	災害リスク分析結果						課題	取組方針(案)			
					洪水		津波		土砂災害						
共通												<ul style="list-style-type: none"> □住民の防災意識向上 □建物の強靱化 □避難確保計画等の作成・運用 □周辺市町村と連携した避難所の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □避難体制の確保 □情報伝達の強化 □要配慮者利用施設における避難体制の確保 □防災教育の推進 □建築物等の強靱化対策 □避難場所等の指定・整備 		
蘭西	全体										居住誘導区域にレッドゾーンが存在	居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□居住誘導区域の見直し	□新規の災害レッドゾーンの除外	
	祝津町			高齢者人口密度が高い				津波浸水深さ3m以上	一部が津波時避難場所から徒歩圏外				□高齢者等の避難体制構築 □避難施設の確保	□避難行動要支援者の避難体制の確保 □避難施設の指定	
	海岸町	○	津波浸水深さ3m以上に行政施設が立地										□高齢者等の避難体制構築 □耐災性、業務継続性の確保	□避難行動要支援者の避難体制の確保 □誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築	
	幸町	○	津波浸水深さ3m以上に行政施設が立地										□耐災性、業務継続性の確保	□誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築	
	入江町	○	津波浸水深さ3m以上に行政施設が立地										□耐災性、業務継続性の確保	□誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築	
	栄町	○							一部が津波時避難場所から徒歩圏外				□避難施設の確保	□避難施設の指定	
	舟見町								一部が津波時避難場所から徒歩圏外				□避難施設の確保	□避難施設の指定	
	中央町	○			高齢者人口密度が高い			津波浸水深さ3m以上					□高齢者等の避難体制構築	□避難行動要支援者の避難体制の確保	
蘭東	天神町										居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在		□住民の防災意識向上	□町内会単位等での防災意識の向上	
	知利別町	○		高齢者人口密度が高い	洪水浸水深さ0.5m以上	家屋倒壊等氾濫想定区域に木造家屋が多数分布						居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□治水対策 □住民の防災意識向上 □高齢者等の避難体制構築 □危険区域の周知	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施 □避難行動要支援者の避難体制の確保 □危険区域の周知・徹底	
	水元町				洪水浸水深さ0.5m以上							居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□治水対策 □住民の防災意識向上	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施	
	高砂町			高齢者人口密度が高い	洪水浸水深さ0.5m以上			津波浸水深さ3m以上					□治水対策 □住民の防災意識向上 □高齢者等の避難体制構築	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施 □避難行動要支援者の避難体制の確保	
	中島本町	○			洪水浸水深さ0.5m以上				一部が津波時避難場所から徒歩圏外			居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□治水対策 □住民の防災意識の向上 □避難施設の確保	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施 □避難施設の指定 □避難行動要支援者の避難体制の確保	
	中島町	○	洪水浸水深さ0.5m以上に商業・金融施設が集積	高齢者人口密度が高い	洪水浸水深さ0.5m以上		洪水時要配慮者利用施設が集積	津波浸水深さ3m以上	一部が津波時避難場所から徒歩圏外				□治水対策 □住民の防災意識向上 □要配慮者利用施設や高齢者等の避難体制構築 □避難施設の確保 □耐災性、業務継続性の確保	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施 □避難施設の指定 □避難行動要支援者の避難体制の確保 □誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築	
	東町	○	津波浸水深さ3m以上に様々な施設が集積	高齢者人口密度が高い				津波浸水深さ5m以上					居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□地域全体の防災力の向上 □住民の防災意識向上 □耐災性、業務継続性の確保	□町内会単位等での防災意識の向上 □地域コミュニティの強化 □誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築
	寿町	○	津波浸水深さ3m以上に様々な施設が集積					津波浸水深さ3m以上			浸水深さ3m以上に木造建物が集積		□迅速な避難体制の構築 □耐災性、業務継続性の確保	□町内会単位等での防災意識の向上 □誘導施設における防災体制・設備の整備 □災害発生後の業務継続体制の構築	
	日の出町	○						津波浸水深さ3m以上			浸水深さ3m以上に木造建物が集積		□迅速な避難体制の構築	□町内会単位等での防災意識の向上	
輪西町											居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□住民の防災意識向上 □高齢者等の避難体制構築	□避難行動要支援者の避難体制の確保		
蘭北	港北町			高齢者人口密度が高い	洪水浸水深さ0.5m以上			津波浸水深さ3m以上	一部が津波時避難場所から徒歩圏外			居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□治水対策 □住民の防災意識向上 □高齢者等の避難体制構築 □避難施設の確保	□町内会単位等での防災意識の向上 □道と連携した治水対策の実施 □避難行動要支援者の避難体制の確保 □避難施設の指定	
	本輪西町								一部が津波時避難場所から徒歩圏外	避難の際の道路勾配が大きい	居住誘導区域にレッドゾーンが存在	居住誘導区域に土砂災害警戒区域が存在	□居住誘導区域の見直し □防災意識の向上 □避難施設の確保	□居住誘導区域の見直し □町内会単位等での防災意識の向上 □避難施設の指定	